



ぽれぽれレター ぽれぽれレター

第18号
2012.12.13



理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

安心・安全ながん医療を提供します
医療提携を進め、地域医療に貢献します
豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます



診療案内

内科 外科 脳神経外科
整形外科 耳鼻咽喉科
婦人科 泌尿器科 放射線科
消化器科 緩和ケア科
乳腺外科 腫瘍外科

【診療受付時間】

午前8:30～正午

【診療時間】

平日 午前9:00～午後5:00

土曜 午前9:00～正午

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始

【お見舞い時間】

正午～午後8:00



診療情報管理士さん紹介



診療情報管理部です。
診療情報管理士2名で患者
皆様の大切な診療情報を
保管・管理し、診療情報の
活用ができるよう日々努力
しています。



がんのリハビリテーション

リハビリテーション部



第13号(2010年10月20日発行)のぽれぽれレターでも、特集に取り上げていただいたリハビリテーション部です。今回は、「がんのリハビリテーション」の当院での取り組みを、リハビリテーションの専門職として当院に在籍する「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」の立場から、どのようなリハビリテーションを行っているのかを紹介させていただきました。

現在は、理学療法士4名(うち1名育児休暇中)、作業療法士1名、言語聴覚士1名が在籍し、異なる国家資格の専門的な視点で三職種が連携する、当院ならではの「がんのリハビリテーション」を提供しています。

今回は、前回とりあげることでできなかった、「がんのリハビリテーションの時期(病気)による目的の変化」を紹介したいと思います。

そもそも、なぜ、がんのリハビリテーションが必要なのでしょう。今は、「がん共存する時代」と言われています。診断、治療技術の進歩により、がんは不治の病から、共生する病となってきています。この共存する時間を、いかに自分らしく充実して過ごすか、という観点から、今、がんのリハビリテーションが注目されているのです。

では、どの時期にリハビリテーションが必要となるのでしょうか。治療で寝たきりとなった方々だけが対象でしょうか？

じつは、がんのリハビリテーションは、診断されてすぐの方から、体調がすぐれずベッド上で過ごす時間が多い方まで、時期(病気)別に異なるリハビリテーションの目的が設定されています。

まず、「**予防的リハビリテーション**」。診断された早期(手術、放射線、化学療法の前)から開始します。体力の衰えなどはあまりない頃ですが、治療における体力低下の予防、身体の機能障害(動きの障害)の予防を目的として行います。

「**回復的リハビリテーション**」は、体力が低下したり、動きが衰えて生活動作が難しくなった方に対して、最大限の回復を図ります。

「**維持的リハビリテーション**」は、腫瘍が増大し、機能障害が進行しつつある方に、患者さん自身で行えるセルフケアの指導、体力や動きを維持したり改善する運動、自助具(生活動作を行いやすくする道具)の紹介、動作のコツの指導、関節が固くなる「拘縮」の予防などを行います。

「**緩和的リハビリテーション**」は、病状がすぐれない方の要望(demands)を尊重しながら、身体的、精神的、社会的にもQOL(Quality of Life: 人生の質)の高い生活が送れるように援助するように行います。

このように、「がんのリハビリテーション」と言っても、時期や病状によってさまざまです。

100人のリハビリが必要な方がいれば、100通りのリハビリテーションプログラムが存在するほど、その人に応じた内容でリハビリテーションは提供されます。



手術後や放射線・化学療法中のがん患者さんの70%は、疲労感や運動能力の低下を感じ、がん治療終了後の患者さんの30%は何年もの間、体力や持久力低下を経験していると言われています。

これらの理由によって寝ている時間が多くなり、活動性が低くなることで、全身の機能が低下してしまう「廃用症候群」と言われる状態を作り出さないよう、がんのリハビリテーションが、自分らしくすごせるためのお役にたてればと思います。



リソースナース紹介



当院において「リソースナース」とは、専門看護師と認定看護師のことを言います。

今から10年以上前の1995年に、高度化・専門分化が進む医療現場において、看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的に、看護界の総意で資格認定制度が発足しました。当院には、日本看護協会の認定を受けた「がん看護専門看護師」、「老人看護専門看護師（非常勤）」、「感染管理認定看護師」、「がん化学療法看護認定看護師」、「がん放射線療法看護認定看護師」の5名がリソースナースとして活動しています。

私たちリソースナースは、それぞれの専門分野において熟練した知識と技術を用いて、患者さまやそのご家族の方々へ看護ケアを提供することに努めています。

また、医療スタッフへの指導・教育、チーム医療の調整を行い、院内全体で質の高い看護ケアが提供できるように努めています。さらに、当院以外の看護師への教育活動や、地域でのネットワーク構築にも力を入れています。



リソースナースの目印は、名札につけているバッジです。がん治療に関すること、症状に関すること、療養場所のこと、患者さまへの関わり方など、何かお困りのことがありましたら、いつでもお声をかけて下さい。1人でも多くの患者さまとそのご家族の方々のお力になれるように、これからもそれぞれの専門分野の知識と技術を磨いていきたいと思ひます。



ぶらり彩都 彩都ヒルズ

当院すぐそばのレストランの紹介

当院の裏出口より徒歩数分にある彩都ヒルズさんをご紹介します。
店内は、赤い絨毯にグランドピアノと高級感があり、天井も高く広々とした店内はとても開放感があります。定食もボリュームがあり、お腹いっぱいになってこのお値段はお得なのではないでしょうか。
また一押しはバーベキュー！なんと予約すれば季節を問わず、一年中楽しむことがで



きます！準備は全てお店の方が行ってくれるので、手軽にバーベキューを楽しむことができます。
当院の職員も利用することの多いこちらのレストラン。昼下がりにゆったりとした時間が過ごしたくなったら、是非足を運んでみて下さい。

----- MENU -----

ランチタイムメニュー(一例)

A定食	750円 (二品ついてきます)
B定食	600円 (一品ついてきます)
今週のおすすめ	500円~
おすすめ丼(味噌汁又はサラダ+漬物付)	
かつ丼	600円
ソースかつ丼	600円
親子丼	550円

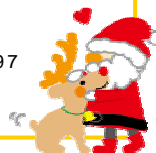
年がら年じゅうバーベキュー(要予約)	
大人	2,500円
子供	1,300円

彩都ヒルズ
Saito Hills



編集後記：12号からぼれぼれレターのレイアウトを担当しておりましたが、次回から担当を交代することになりました。前担当者から引き継いで2年8ヶ月、少しずつ変化を遂げたぼれぼれレターが今後どう変わっていくのか楽しみにしています(T)

発行者：中村仁信(病院長) 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
編集長：福西康修(放射) 072(641)6898 Fax072(641)6097
編集委員：中嶋真一郎(医師) 森下孝子(看護) 橋本千佳子(健診) 常島啓司(情報)
志田原直子(医事) 寺内香澄(放射)



<http://www.saito-yukokai-hp.jp/index.htm>

「ぼれぼれ」はホームページからダウンロードできます！

このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい